

# 委員会 調査レポート



コラム 福津市子ども未来議会2024開催!

## 中学生が考えた9つのプロジェクトを市長にアピール!



今年も市内3つの中学校による「福津市子ども未来議会2024」が10月26日に開催されました。9つのグループが市の現状や課題について調査し、市が「幸せなまち」になるためのプロジェクトとして提案をまとめ、議場で市長や執行部に向けて発表しました。また、自分たちの考えたプロジェクトに対して、中学生自身や小学生も巻き込んだ行動も表明しており、小中9年間の繋がりを感じるとともに、未来を担う中学生の姿に頼もしさを感じました。

議会だよりふくつをお読みいただきありがとうございます。紙面に対する感想やご意見などがありましたら、声をお聞かせください。いただいた内容は今後の編集の参考とするほか、紙面で紹介する場合もあります。なお、原則、直接回答は行っていませんのでご了承ください。

POST CARD

郵送する場合  
お手数ですが  
切手をお貼り  
ください

811-3293  
福津市役所  
議会事務局 行

**G FUKUTSU**  
議会だより ふくつ

冬号  
2025.

フリガナ 氏名 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳  
住所 〒 \_\_\_\_\_  
電話番号 (紙面掲載時の確認の際に連絡します) \_\_\_\_\_  
ペンネーム \_\_\_\_\_

各常任委員会が所管する事務について行った 先進地への行政視察を報告します。

## 建設環境委員会

市民共働部、経済産業部、都市整備部、農業委員会事務局の事務について調査研究しています。



**コミュニティバス、デマンド交通について視察**  
埼玉県鴻巣市はコミュニティバス「フラワー号」、このす乗合タクシー「デマンド交通ひなちゃんタクシー」を運行している。また、高齢者や障がい者の移動手段の確保、交通空白地域への対応など幅広いニーズにも対応する取り組みを行っている。鴻巣市の取り組みを調査した。  
**調査結果**  
フラワー号は、8路線で鴻巣市全域をほぼカバーし、利用者は埼玉県内1位の実績がある。デマンド交通として、この

す乗合タクシーは、事前登録が必要である。完全予約制で、同乗、低運賃で、全市民の日常生活における移動手段の確保につながっている。  
ひなちゃんタクシーは、利用者を高齢者や妊婦などに限定しており、必要書類を添付して事前登録が必要。1人につき月8件までの利用制限があり、利用時に電話をするシステムである。  
**委員会からの提言**  
今後、子育て世代や高齢者が、

世代を超えてより良く暮らすには、地域公共交通の充実が不可欠と考える。高齢者の外出の機会を妨げないためにも、早急にデマンド交通の実証実験を行うべきと考える。  
報告書はこちら



## 市民福祉委員会

市民生活部、健康福祉部、こども家庭部の事務について調査研究しています。



**子どもの居場所づくりについて視察**  
6月に国の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が改正され、本市でもこども計画策定に向けた検討が行われていること。三原市の児童館「ラフラフ」を視察し、調査研究を行った。  
**調査結果**  
広島県三原市の児童館「ラフラフ」の特長は、行政と中高生でつくった児童館であること、施設を利用する子どもたちや保護者も運営に関わっており、世代を超えた活動が続いていることである。  
広島県尾道市は日本財団と協定を結び、貧困世帯の子ども第3の居場所を3か所に設置している。学習支

援や家計支援など、3つの居場所の形態は違っているが、保護者の就労支援も取り入れた、寄り添い型の生活支援を行っている。子どもの成長を見守る。  
**委員会からの提言**  
三原市のラフラフは、高校を卒業した後も、スタッフとして関わるなど、持続性のある子育て支援が構築されている。  
尾道市の子ども第3の居場所は、当事者だけでなく、地域や学校、企業などが行政と情報や課題を共有し、連携している。子どもが幸せに暮らし、成長するための重要な事業である。  
報告書はこちら



## 総務文教委員会

総務部、経営企画部、教育部、会計課、監査事務局等の事務について調査研究しています。



**秀峰筑波義務教育学校のスクールバス運用を視察**  
茨城県つくば市立秀峰筑波義務教育学校では登下校のためにスクールバスを運用している。本市で実施する場合の参考とすることを目的に、スクールバス制度や運用について調査した。  
**調査結果**  
当校は7校の小学校と2校の中学校を統廃合して開校した。令和6年4月1日時点で児童・生徒数は989人、そのうち558人がスクールバスを利用している。計20台が稼働し、委託業者4社と5年間約9億6

558万円で契約。県や国の補助金を活用し、現在は市が全額負担している。スクールバスの運用が前提で学校が整備されており、バスの待機場所や乗降場が確保されている。  
**委員会からの提言**  
本市では校区再編が検討されているが、バスを導入するには受け入れ先の学校にバスの待機場所や乗降場所を確保する必要がある。また、補助金の活用が難しく、予算確保が課題であ

る。バスや運転手の確保など運用面の課題も多いため、早めの検討と着手が必要である。校区再編の上で、スクールバスは必要な条件であり、校区再編と並行して検討すべきである。  
報告書はこちら



▲十分なスペースを確保し、安全なバス運行を実施



▲さまざまな手段を活用して地域公共交通の充実を



議会の傍聴 中継・録画配信

議会の傍聴してみませんか。傍聴の際は、議事進行の妨げとならないよう傍聴規則を遵守し、大声や拍手を厳に慎んでいただきますようお願いいたします。なお、国会、予算および決算審査特別委員会は、中継と録画配信もしています。



中継・録画配信

※託児サービスあり(要事前予約)

次回の定例会

3月定例会
3月11日(火)開会
3月28日(金)閉会予定
請願陳情の受付締切予定
2月28日(金)正午



市議会HP

議会の地位

住民を代表する公選の議員で構成される地方公共団体の議事機関です。

議会の二つの使命

- ①地方公共団体の条例や予算等の団体意思を最終的に決定すること。
②執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法かつ適切に、公平で効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視すること。

議員の職責

議会の二つの使命を完全に達成できるよう懸命に努力すること。

編集後記

特集では、初の市外での取材を行い、筑紫野市議会の赤司議長と福岡県議会にご協力をいただきました。広報委員会任期2年の最後の集大成となった本号では、時代と共に考え方や価値観は変わっていきますが、普段の皆さんの行動の見直しや、選挙運動や政治活動でやってはいけないことを知る機会にさせていただくと幸いです。挑戦し続ける議会だより、ご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

(福井 崇郎)

発行責任者 議長 高山 賢二

議会広報調査特別委員会

(1月8日 校了日現在)

委員長 福井 崇郎

副委員長 中村 晶代

委員 中村 恵輔 井手口 忠信

山本 祐平 石田まなみ



IG-FUKUTSU「マニフェスト大賞エリア選抜」に選出

地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを評価する第19回「マニフェスト大賞」九州・沖縄エリア選抜に選出されました。
議会だより「ふくつ」は愛称を「G-FUKUTSU」として全面刷新し、市民との信頼関係の構築に取り組んできました。市民が登場する特集ページ、市民投稿のコーナー、漫画コーナーを設けるなど、市民参加によって身近な議会をイメージづける大きな一歩となりました。

たいです。変えるのはひとりひとりの力だと思えます。(ナポリタンさん/40歳代)
とても分かりやすく読みやすかったです
特集の18歳の投票意識では、若い子たちの思いが伝わってきてよかったです。もっと幸せな未来のために、私たちも必ず投票に行かなければと改めて思いました。
一般質問などで議員が頑張っているの、もっといろいろ知りたいと思いました。(みかんさん/50歳代)
若い世代が活躍する魅力ある福津市に

リニューアル後の表紙はインパクトがあり、20歳代の娘にも好評です。前号の特集は本当に良かったです。政治に関心がないと言われる世代の率直な意見と、市に対する思いを知ることができました。もっと20〜30代の若い世代が元気に活躍する活気あるまちになってほしい。福津で働きたい、福津に住みたいと言われるような、魅力あるまちになることを願っています。(ハッピーママさん/50歳代)
我が子にも政治や選挙について話していきたいです
前号の特集がとてもよかったです。これからの未来を支えていく若い世代の「投票に行



ふんちゃんを探せ! ふんちゃんクイズ 答え

- ①20周年
②22回
③20台

かない・わからない」という意見が半数以上だったことは、大人が考えなければならぬ課題だと強く感じました。市政を知る機会や、自分事としての実感がないと、政治に関心を持つことは難しいと思います。
我が子も数年後には選挙権を持つので、進んで投票に行けるよう、家族で話し合っていきたいです。(おはぎさん/40歳代)



大阪府島本町議会から行政視察に来訪

同町議会総務建設水道常任委員会が、上西郷川のグリーンインフラの取り組みについて視察されました。
西郷川リバーズ基本計画、上西郷川ワークショップ、九州大学との協定を紹介しました。



宮城県大崎市議会から行政視察に来訪

同市議会産業常任委員会が、本市のひかりのみちDMO福津について視察されました。DMO設立の経緯や地元の諸団体や企業との連携、またDMO設立後の観光客数の推移などについての質問をされました。
本市からは「光の道」「かがみの海」と併せて「鯛茶づけフェア」といった年間の行事などを織り交ぜながら、観光の情報発信について紹介しました。



議会トピックス

閉会中の議会の動きを紹介しします。



私の一票が大切な理由がわかりました
今まで大きな不満はなかったのに、「投票が未来を変える」の意味があまりわかっていませんでしたが、今回の議会だよりを読んで、私たち市民が日常生活で感じる「もっとこうだったらいいな」を伝えていくことの大切さを理解することができました。
政治のことはまだ知らない事も多いですが、はじめの一

歩として、次の選挙は必ず参加しようと思えます。(まるさん/20歳代)
福津市を変えるのはひとりひとりの力です
私は、議員と接する機会があり、個々の議員の活動を身近で見ることができました。今後、地域共生社会の理念をもっと大切に、子どもたちや保護者にも、政治に興味を持てる環境にしていきたい

感想やご意見は、以下のはがきを切り取り、切手を貼って郵送するか、市役所、市図書館、津屋崎行政センター設置の意見箱に投函してください。なお、右の感想・ご意見フォームからも提出できます。



感想・ご意見フォーム

議会だより ふくつ

2025.冬号

特集 No!ハラスメント

Q1 今号でよかったと思う記事をご記入ください。

Q2 改善してほしいと思う記事をご記入ください。

Q3 紙面の感想やご意見があればご記入ください。